
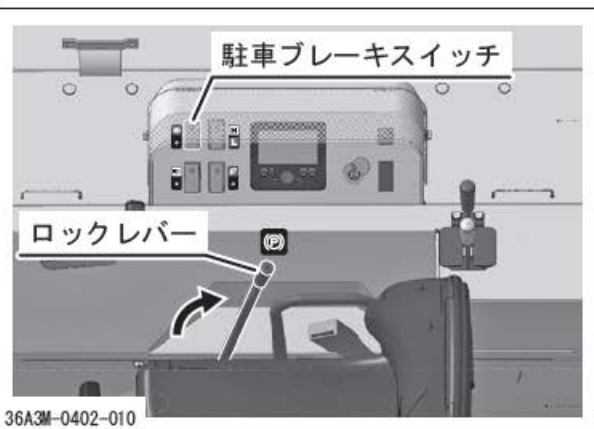
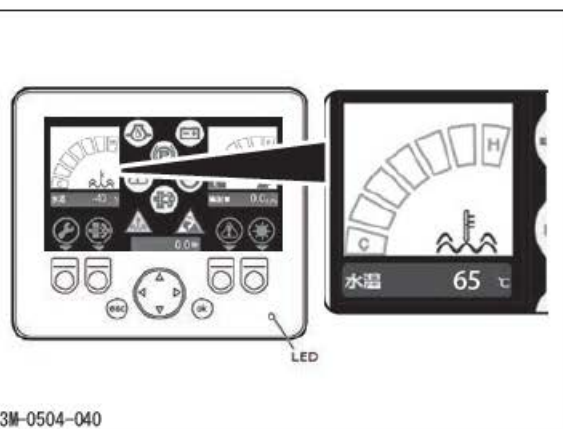


⚠ 注意

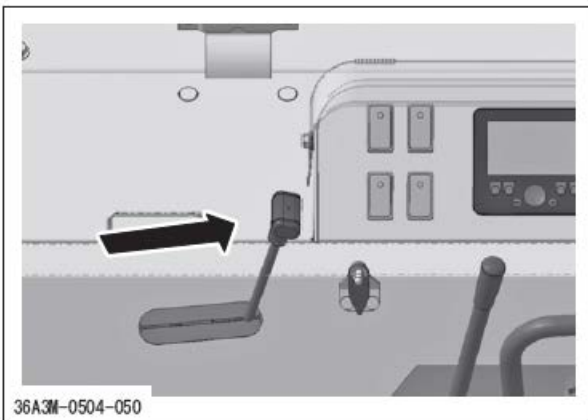
- ・ディスプレイに排気ガスフィルタのアイコンが点滅している場合、DPFの手動クリーニングを行ってください。手動クリーニングを怠ると故障の原因になります。
- ・クリーニング中は排気ガスが高温になります。手動クリーニング中はやけどや火災防止のため、排気管の周辺には人や可燃物を近づけず、安全な場所で行ってください。
- ・換気の悪い場所では行わないでください、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ・手動クリーニングは15～20分かかり、下記の1～4のうち2項目が外れるとキャンセルされます。
- ・手動クリーニングが正常に終了せず、DPFにススが溜まり続けるとDPF保護のためにエンジンの出力が制限されます。更にDPFが目詰まりをおこすとクリーニングが出来ずDPFの修理や交換が必要となります。



1. 駐車ブレーキを「(P) (駐車)」を押し、ロックレバーを「ロック」位置にします。

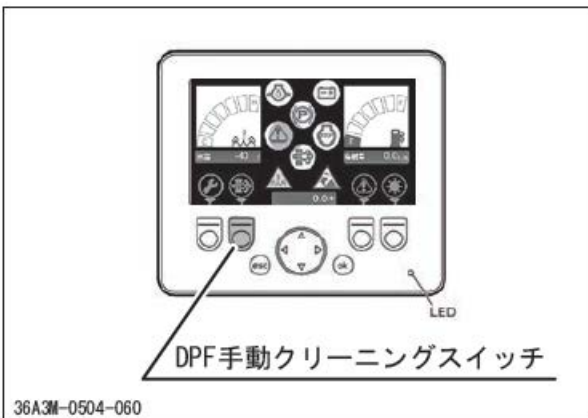


2. 水温を65℃以上にします。
(65℃未満の場合はエンジン回転数を上げて調整してください。)



36A3M-0504-050

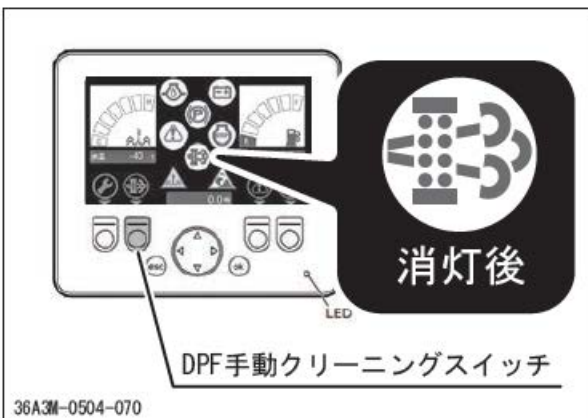
3. アクセルレバーを「 (低速)」にします。



DPF 手動クリーニングスイッチ

36A3M-0504-060

4. DPF 手動クリーニングスイッチを押します。



DPF 手動クリーニングスイッチ

36A3M-0504-070

5. 消灯後、完了です。




注 意

排出ガス浄化装置 (DPF)



上図のようにディスプレイにエラーが表示されたら、ボタンを押してエラーコードを確認してください。





ディスプレイに排気ガスフィルタのアイコン () が点滅したら必ずDPFの手動クリーニングを行ってください。

排気管の周辺に可燃物がないことを確認し、風通しの良い安全な場所で行ってください。

手動クリーニングは15～20分かかり、右記の **1**～**4** のうち1項目でも外れるとキャンセルされます。詳細は取扱説明書をご覧ください。

DPF手動クリーニング手順

- 1** 駐車ブレーキを (P) に入れる。
- 2** 水温を65°C以上にする。
(65°C未満の場合はエンジン回転数を上げて調整)
- 3** アクセルレバーを  にする。
- 4** DPF手動クリーニングスイッチを押す。
- 5**  消灯後完了。